

西日本豪雨の被災地では、引き続き、ボランティアの力を必要としています。

改めて、全国からの応援をお願いいたします。

平成30年7月豪雨の被災地では、8月末で累計20万人以上の方がボランティアとして尽力されています。しかしながら、豪雨の爪痕は想像以上に深く、改めて、全国からのボランティア、資金等の応援をお願いします。

特に、岡山県倉敷市、広島県呉市・坂町の各災害ボランティアセンターでは、引き続き全国からの泥出し等を行うボランティアを募集しています。個人の参加はもとより、ボランティアバス等での団体での参加も歓迎しています。被災者にとってまずは自宅の土砂出しが生活再建のスタートとなりますが、今もなお最初の一步で苦しんでいる方がおられます。一人でも多くの方のご参加をお願いします。

以下のサイトから、ボランティア募集を継続している災害ボランティアセンターがご覧いただけます。また、西日本豪雨以外の被災地でも、ボランティアを募集している災害ボランティアセンターがあります。

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報

<https://www.saigaivc.com/>



被災者のニーズは日々変化しています

被災された方々の「困りごと」は、時間の経過とともに、生活やコミュニティ活動のサポート、子どもたちのケアなどといったニーズに変化してきています。多くのボランティア団体やNPO、専門ボランティア等の支援団体が、このようなニーズに対応する支援活動を展開しています。例えば、

- 避難所や、いまだ台所が使用できない地域の方々への炊き出しを実施
- 地域の公民館等で「足湯」を実施、ちょっと一息できる場を設置
- 子どもたちへのお楽しみイベントなどを企画
- 建築技術を持つ方に、被災家屋の床下や壁面への対応を依頼

こうした支援団体の活動に参加して応援することもできます。また、活動に必要な物資や資金を送って応援するということも可能です。詳細は、各支援団体のホームページなどで確認してください。



※現地入りされているボランティア団体・NPO・NGOなどのみなさまへ

情報共有会議に参加してください

各々の団体の支援活動の情報交換や、互いの過不足を補い合うため、行政と災害ボランティアセンターも交えた各領域の「情報共有会議」が開催されています。ぜひご参加ください。

岡山県「災害支援ネットワークおかやま会議」

広島県「平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議」

愛媛県「えひめ豪雨災害・支援情報・共有会議」

※参加に関する詳細は、JVOAD事務局(info@jvoad.jp)までお問い合わせください。

寄付で被災地を支援する

「ボランティア・NPO活動サポート募金」

寄付を通じて被災地を支援する方法もあります。赤い羽根の中央共同募金会では、被災者の支援活動を行うボランティア・NPO団体の活動費用を応援する「ボランティア・NPO活動サポート募金」を受け付けています。ご協力をお願いします。

平成30年7月豪雨災害ボランティア ・NPO活動サポート募金(ボラサポ・豪雨災害)

募集期間：平成30年7月10日(火)～12月28日(金)

振込先

みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金 2 8 5 6 7 1 7
<口座名義> (福)中央共同募金会

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 1 7 7 6 3 1
<口座名義> (福)中央共同募金会

クレジットカードでの募金も受け付けています。
http://donate.akaihane.or.jp/products/detail.php?product_id=648



※詳細は、中央共同募金会ホームページ
<https://www.akaihane.or.jp/> をご確認ください。

2018年9月15日

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P) <http://www.shien-p-saigai.org/>
NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) <http://jvoad.jp/>
内閣府(防災)普及啓発担当 www.bousai.go.jp <https://bosaijapan.jp/>